

女性心理臨床ラボ主催2022年間講座 さよかい 小夜会 ★ のご案内



— 自分と出会うため、夜に学ぶ・語る —

「小夜会」は、2020年1月にスタートした年間講座です。新型コロナウイルス感染症拡大の不安の中で発展したオンライン研修という形で、特にこれまで子育てや介護などで夜間や休日に研修の機会がなかなか持てなかった方に向けて行います。それ以外のご事情での参加（遠隔地など）も歓迎します。主に月1回第4金曜日21時という時間に設定することで、仕事や家事にも支障なく参加できるように考えました。仕事や家庭であわただしい日々の中、1カ月に1回、夜この時間を共有することで、**今自分にこころの専門家として何ができるのか**を考えるきっかけにいただければと思います。

内容は、本やインターネットからでは得られない生きた研修とするために、各分野のエキスパートの先生方に、学派や技法を越えてそれぞれの領域における**今日的課題**を視座に置いた講義と、回によってはケース検討を行います。単なるハウツーや技法の受け身的な取得に終わるのではなく、日々の臨床場面で自分がどのような角度から現象を見て理解しようとしていくのかを問い続けられるような**問いを立てるための研修の場**にしたいと考えています。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

 お申し込みはこちら

<https://forms.gle/ZKHuWKML9a1rmfBv8>

(締切 2022年4月末日)



期間： 2022年5月～2023年3月

* 8月の第4夜は講師陣も交えたオンライン懇談会とします（自由参加）

日時： 月1回、金曜日21時から23時（第6夜のみ水曜日）

定員： 30名（上記お申込みフォームで受付後、参加の可否や振込先をご案内します）

料金： 5万円（継続受講の方は3万5千円。単回受講の場合1回6000円、年間受講者を優先とします）

対象： 心理援助職の専門家（守秘義務のある方・性別不問）

場所： Zoom

内容： 前半：講義 後半：質疑応答、講義内容に関連したケース検討など

「臨床心理士」の研修機会承認申請予定（定例型研修会（年6回以上、合計20時間以上）：

1年間の継続参加者＝4ポイント）

【昨年受講生の感想から】

Mさん 臨床経験20年愛媛県SC、講師、大学でのスーパーヴァイザー、私設心理室

毎回精神分析、社会学などいろいろな講義が聞けて、「小夜会」という名のイメージをいい意味で裏切って内容が濃いです。いただいたハンドアウトは大切に持っていて、臨床の中でふと思い出すこともあります。自分にはこれからはアウトプットも必要だなと、課題を見つれたり。小夜会は、情報の宝庫です。普段孤独に仕事している中で、夜仲間や先輩たちとつながれることで、豊かな臨床ができる形になってきました。

Nさん 東京都精神科クリニック、SC

勤務先がコミュニティベースの街のクリニックと学校なので、経済的にも病態的にも様々な方がいて、前から来る球を次々打ちながら常に勉強していないと、という感じです。小夜会は、現場に即したテーマが盛りだくさんで、私のような多種多様なクライアントが来る設定で働いている人にとってはとても役に立つと思います。ケース検討では的確なご助言をいただき、その後の治療方針を考える上で大きな助けとなりました。

Cさん 千葉県メンタルクリニック

案内に「介護や子育てでなかなか研修に出られない方のために、夜の9時からセミナーを設定しました」とあって、その発想が新鮮に感じられ、関心を持ちました。各分野の第一人者の先生方が夜9時からの時間帯に講義して下さるということで、熱のこもったセミナーだなと思い、申し込みました。内容は、気になっているけれど専門書を一冊読むには時間も気力も足りない…といったテーマが揃っていて、充実したご講義に刺激を受けました。（事例を提出して）事例を大事に扱ってもらえ、その分事例と向き合い、深い理解を得ることができたのが良い体験になりました。日常にちょっと疲れていましたが、穏やかにホッとする雰囲気セミナーに参加すると、毎回、また明日からがんばろうという気持ちになれました。

Oさん 群馬県SC、小児科・児童精神科クリニック

ちょうど自分が道に迷っていたとき。結婚で東京から地方へ、出産もあり、研修は東京で途切れたまま。自分はどのようなふうなスタンスで何をしたいのかわからなくなっていた。小夜会は、すごく支えになった。私みたいに子育てしながらだと、この時間はありがたい。ちょうど子どもを寝かし終わったり、金曜だから明日学校ないからちょっと夜更かしさせてもいいか、とか（笑）。私みたいに一回（勉強から）離れちゃった人からするとすごくありがたい時間をいただけたなあ。そういう方にお勧めしたいなと思いました。


特定非営利活動法人 女性心理臨床ラボ <https://fpcl.jp/> は、

「女性であること」を軸として、こころの問題に向き合うためのカウンセリングセンターです

★講師・講義内容紹介

さよかい

※年間講座 小夜会 は、原則月1回、金曜日21時から23時まで

- ★第1夜 5月27日(金) 笠井さつき
NPO法人女性心理臨床ラボ代表 帝京大学心理臨床センター 臨床心理士・公認心理師
『精神分析の視点で考える女性とトラウマの臨床』
- ★第2夜 6月24日(金) 若佐美奈子先生
神戸女学院大学 人間科学部 心理・行動科学科 臨床心理士・公認心理師
『精神分析的視点から見た、Z世代のこどもが育つ風景』
- ★第3夜 7月22日(金) 毛利伊吹先生
同法人正会員 上智大学総合人間科学部心理学科 臨床心理士・公認心理師
『認知再構成を考える：その人の考えを辿ることについて』
- ★第4夜 8月26日(金) 講師を交えたオンライン懇談会(自由参加) 21時開始～1時間程度
- ★第5夜 9月16日(金) 濱田純子先生
同法人正会員 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部 臨床心理士・公認心理師 
『カサンドラ症候群という問いについて考える』
- ★第6夜 10月19日(水) 赤穂理絵先生 ※この回のみ水曜日、19時から21時
同法人理事 東京女子医科大学病院 精神科医
『リエゾンの視点から病気と家族を考える』
- ★第7夜 11月25日(金) 堀越勝先生
国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター 前センター長
『PTSDの認知処理療法』
- ★第8夜 12月23日(金) 松木邦裕先生
京都大学名誉教授・日本精神分析協会会員
『母親としての治療者、父親としての治療者』
- ★第9夜 1月27日(金) 金生由紀子先生
同法人正会員 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部 児童精神科医
『家族や社会の中における発達障害：トウレット症候群を通して』
- ★第10夜 3月3日(金) 澁谷智子先生
成蹊大学文学部 現代社会学科 教授
『ヤングケアラーについて』
- ★第11夜 3月24日(金) 笠井清登
同法人正会員 東京大学医学部附属病院精神神経科 精神科医
『こころの支援と時代、世代、社会』

